

木の駅プロジェクト 参加募集！

～軽トラとチェーンソーで晩酌を～

根曲がり材や端材なら軽トラでも出せる！



お宅の山で放りっぱなしになっている木（林地残材）を「木の駅」に出荷して、山をきれいにして、町が元気になって、地球温暖化ストップに少し役に立って、そして自分にはご褒美の晩酌を・・・。そんな社会実験を行います。高知県ではすでに定着し地域活性化の原動力になっているこの仕組みを中野方に導入できるかどうかの実験です。

内容：林地残材を木の駅（中野方ダム残土造成地）に出荷すると、中野方でのみ使用できる地域通貨「モリ券」で支払います。（1トン6千円、トン当たり3千円の助成をします）

第1次実験期間：平成21年12月5日～12月20日（モリ券使用は22年1月11日まで）

参加資格：中野方町民及びゆかりの者で登録した者（参照）

募集期間：平成21年11月末日まで

参加方法：下記に問い合わせ 調査員がお宅に伺い聞き取り調査と登録手続きをします 「木の駅」セットをお渡します（マニュアルや必要な小物が入っています）

無償伐採制度

登録して参加したいが今回の実験期間までに伐採する人手や時間がない方のために用意しました。境界の明らかな山林の一角（約500㎡）を杉組や森林ボランティアまたはプロの手で施業診断してから、無償で適正に間伐します（約50本）。ただし、1年以内に続き地2,000㎡以上の間伐（申請）をして下さい。（1,000㎡以上の間伐は、補助金がついて申請するとほぼ自己負担なしで間伐できます）

11月15日に伐倒&搬出講習会やります



主催：特定非営利活動法人夕立山森林塾 & 杉組

協力：中野方振興会、中野方財産区、中野方観光協会、

助成：山村再生プラン助成金（林野庁） 間伐及び間伐材の利用促進事業（国土緑化推進機構）

問い合わせ先：鈴木今衛（杉組） 電話0573-23-2411 090-3257-1541